

本資料は、2026年8月17日（現地時間）、インド・ムンバイで発表されたプレスリリースの日本語訳です。

発表内容の詳細は原文をご覧ください。

URL: <https://www.tcs.com/who-we-are/newsroom/press-release/tcs-launches-agentic-ai-platform-transform-drug-development>

TCS、医薬品開発の変革に向けてエージェンティックAIプラットフォームを発表

TCS ADD™ AgentHubが、高度に規制された環境において

製薬業界の研究開発バリューチェーン全体にわたり信頼性が高いAI活用の拡大を支援

ムンバイ、2026年8月17日：タタコンサルタンシーサービシズ（TCS）は、医薬品開発におけるエージェンティックAI（AIエージェントを活用したAI）の大規模活用を可能にし、かつ業務上の役割に応じて利用できる、エンタープライズ利用に対応した信頼性の高いAIプラットフォーム「**TCS ADD™ AgentHub**（エージェントハブ）」を発表しました。

本プラットフォームは、規制・監査要件を満たしながら、臨床試験および安全性情報管理業務（ファーマコビジランス：Pharmacovigilance、以下、PV）の変革を実現する新たなAIワークフォースを提供します。

製薬企業は高度に規制された環境で事業を展開しており、各業務領域においてAIを活用する際に、信頼性、ガバナンス、拡張性に関するさまざまな課題に直面しています。また、臨床開発やPV領域におけるデータ量の増加、システムの分断、規制要件の高度化によって、研究開発バリューチェーン全体の複雑性が増しています。

TCS ADD AgentHubは、こうした課題の解決に向けた体系的なフレームワークを提供します。このフレームワークでは、AIエージェントが明確な役割分担、適切な管理体制、そして監査証跡機能のもとで運用されます。製薬企業は、自社のニーズに応じたAIエージェント基盤を構築し、臨床開発業務全体に展開することができます。また、本プラットフォームは最小限の工数で既存環境と迅速かつ効率的に統合できるため、規制要件を満たしながら導入を加速します。

TCS ADDフレームワークを基盤とするTCS ADD AgentHubは、医薬品開発および医薬品安全性管理業務において、具体的な業務改善効果をもたらします。本プラットフォームを活用したソリューションでは、臨床データ管理業務で最大40%の効率向上、メタデータを活用した自動化により臨床試験の構築工数を最大30%削減、さらに安全性症例の処理業務全体で最大30%のコスト削減を実現しています。また、安全性管理AIエージェントにより、品質管理業務の工数を最大50%削減できることが実証されており、研究開発のプロセス全体の生産性向上を支援します。

TCS ADDのエージェンティックAIアーキテクチャを基盤とするTCS ADD AgentHubは、製薬企業がTCS独自の「Human + AI」モデル（人とAIが自律的に協働するモデル）を導入できるよう支援します。このモデルでは、AIエージェントがエンタープライズワークフローに組み込まれる一方で、人がガバナンスおよび意思決定の責任を担います。

TCS ライフサイエンス&ヘルスケア部門 プレジデントの**デバシス・ゴシュ（Debashis Ghosh）**は、次のように述べています。

「TCS ADD AgentHubは、業務上の役割に応じて利用できる、エンタープライズ利用に対応した信頼性の高いAIプラットフォームであり、お客さまがエージェンティックAIを大規模に活用して医薬品開発を加速できるよう支援します。絶えず変化する規制環境の中で、従来の事後対応型オペレーションから、先回りした対応が可能で、拡張性と監査対応力を備えたオペレーションへの転換を実現します。TCSは、AIエージェント群が人とともに業務を担う自律型エンタープライズの実現を目指しており、医薬品開発におけるイノベーションの推進と患者安全性の向上に取り組んでいます」

TCS ADD AgentHubは、ICSR^{*1}の受領・登録、データ入力、コーディング、レビュー、文献分析をはじめ、試験設計、プロトコルのデジタル化、臨床データレビュー、SDTM^{*2}への変換、メディカルモニタリング支援など、臨床開発やPV

領域のさまざまなワークフローをAIエージェントで支援します。また、要件や利用環境に応じて特定のニーズに対応するAIエージェント群を継続的に拡充しており、最小限の統合・導入工数で、段階的かつ迅速に展開できます。さらに、これらの業務プロセス全体でAIエージェントを一貫して活用することで、組織の生産性向上を支援するとともに、研究者や科学技術チームがより付加価値の高い業務に専念できるようにします。

^{*1}Individual Case Safety Report：個別症例安全性報告。医薬品の副作用や有害事象が生じた際に患者や製品の情報を規制当局に報告する文書。

^{*2}Study Data Tabulation Model：臨床試験の個々の患者データを標準化し、規制当局へ電子データとして提出するための国際標準規格。

TCS ADD AgentHubに象徴される、全社的なAIファーストの企業文化を背景に、TCSは「世界最大のAI主導型テクノロジーサービス企業」となることを目指しています。TCSは、TCS ADDスイートが有する独自のインテリジェンスを活用し、お客さまに具体的な価値をもたらす、予測可能かつセキュアなデジタルエコシステムの実現を支援しています。

以上

タタコンサルタンシーサービシズ (TCS) について

タタコンサルタンシーサービシズは、世界のさまざまな業界を牽引する大手企業から選ばれるテクノロジーパートナーです。1968年の創業以来、イノベーション、卓越したエンジニアリング、そしてカスタマーサービスにおいて最高水準を追求してきました。

「世界最大のAI主導型テクノロジーサービス企業」への成長を掲げ、インフラからインテリジェンスに至るAIスタック全体にわたり、お客さまの変革を支援しています。

TCSは**タタ・グループ**の伝統に根ざし、お客さま、投資家、従業員、そして広く社会に対して、長期的な価値を創造することに注力しています。56カ国に広がるハイスکیل人材と、世界194か所のサービスデリバリーセンターを擁し、世界各地でトップ・エンプロイヤーに認定されています。TCSは、新技術を迅速に適用し、大規模に展開する能力を活かしながら、お客さまとの長期的なパートナーシップを構築してきました。こうした関係の多くは数十年にわたり、1970年代のメインフレームから現在のAIに至るまで、あらゆる技術革新の波を共に乗り越えてきました。

TCSは、人々の健康の促進や持続可能な社会の実現、コミュニティのエンパワーメントを目的に、**TCSニューヨークシティマラソン**、**TCSロンドンマラソン**、**TCSシドニーマラソン**を含む、世界有数のマラソンおよび耐久レース14大会を支援しています。2026年3月31日を期末とする会計年度において、TCSの連結売上高は300億米ドルに達しました。

TCSの詳細については、www.tcs.comをご覧ください。